

特別展
華麗なる京蒔絵
— 三井家と象彦漆器 —

平成23年12月3日 (土)～平成24年1月29日 (日)

さまざまな芸術を支援した近代の三井家。なかでも寛文元年(1661)に創業した京都の漆器商・象彦へのパトロネージは格別で、三井家の特別注文による豪華な蒔絵が数多く誕生しました。

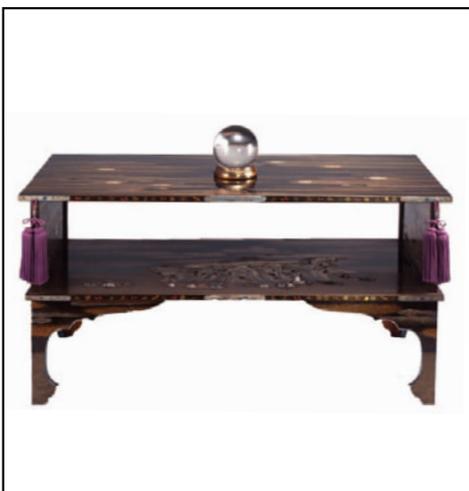
本展では三井家に伝来した象彦作品を関西で一挙初公開するとともに、象彦代々の優品も展示致します。日本が誇る伝統工芸「蒔絵」の華やかな煌めきをご堪能ください。

主催 細見美術館 京都新聞社
特別協力 株式会社 象彦、三井記念美術館
休館日 毎週月曜日 (祝日の場合、翌火曜日)
年末年始：12月26日～1月2日
開館時間 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)
入館料 一般1,000円 (800円) 学生800円 (600円)
※ ()内は20名以上の団体料金
会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

お問合せ先 広報担当 三宅 由紀
Tel / 075-752-5555 Fax / 075-752-5955
E-mail / kouhou@emuseum.or.jp



「唐花唐草蒔絵経箱」西村彦兵衛製 明治～明治時代初期 三井記念美術館



「月宮殿蒔絵水晶台」1基 八代西村彦兵衛製
大正～昭和時代 三井記念美術館



「有職文蒔絵たばこセット」西村彦兵衛製
明治～昭和時代初期 三井記念美術館



「両替年代記蒔絵冊子形硯箱」1合 八代西村彦兵衛製
昭和8年(1933) 三井記念美術館